

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">総合演習</p>	<p>対象学科・学年 文学部 英米 3回生 人間人社 3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">松田 晃</p>
<p>授業テーマ</p> <p>・「人類共通の諸課題及び我が国社会全体に関わる諸課題」を視野に入れた課題を設定し研究を深める</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>・今世紀を生きる子どもたちは、それぞれの時代を創造していく。その過程において「地球的視野」で思考していくことが求められている。そのような子どもたちの教育に直接携わる教員は、それに相応した視野に立って思考し、行動する資質・能力が不可欠である。この授業においては、「人類共通の課題や我が国全体にかかわる諸課題」の内、いくつかの課題を設定し、問題解決的な学習法や体験的な学習法で、自らの学び方を深める。また、「総合演習」を生かして指導力の充実志向する観点に立ち、指導法を模索し、主体的な学習を展開する。</p>		
<p>評価方法</p> <p>・出席(学習活動への参加度)や主体的な行動・実践姿勢 30%等を重視する。教員として身に付けるべき資質・課題解決能力の形成への努力と成長に対する「自己評価 20%・相互評価 20%」、担当教員による「指導評価 30%」を併せて総合的に評価・評定する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>・総合的な学習—演習論</p>	<p>著者 末政公徳・富村 誠 編</p>	<p>出版社 建 帛 社</p>
<p>参考書</p> <p>・適宜紹介をする。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合演習の取り組み内容と演習の進め方 2. 研究課題の設定について(1) 現実認識に基づき、諸課題を抽出し、研究課題を検討する 3. 「総合演習」の時間誕生の時代的背景 豊かな社会・国際化社会・脆弱化した人間関係・直接体験不足・畏敬の念の欠如・教科枠を超えた教育の必要性等 4. 研究課題の設定について(2) 課題解決・課題研究の計画を作成する。 5. 「総合演習」の時間とはどのような時間か 小・中学校における「総合的な学習の時間」と学習指導要領における位置付け 6. 小・中学校における「総合的な学習の時間」は何をめざしているか 「総合的な学習の時間」のねらいと評価 7. 「総合演習」の課題領域 「総合演習」新設の理由と視座(グローバル社会・自然と地球環境・人々の相互理解と共生等) 8. 課題解決の追求・研究活動(1) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 9. 課題解決の追求・研究活動(2) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 10. 課題解決の追求・研究活動(3) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 11. 研究報告会・評価会(1) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 12. 研究報告会・評価会(2) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 13. 研究報告会・評価会(3) 学習全体について口頭・パネル等によって発表とディスカッションならびに、自己評価と相互評価を行う。 14. 研究報告会・評価会(4) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 15. 研究報告会・評価会(4) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 		